

まるはり。

# Maruhari

冬 | 2022  
BIG PRESENT



心華やく季節が  
お待ちかね。



「あすなろ」奨励賞を受賞したメンバーたち

今が旬！冬の味覚を大満喫  
絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋

冬はあすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋  
あすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋  
あすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋  
あすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋  
あすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋

冬はあすなろの味覚を大満喫！絶品ランチ/絶品仕揃/絶品鍋



医療法人社団やまゆり会 理事長 辻野吉昭  
神戸市出身。1994年兵庫医科大学大学院卒業。医学博士 兵庫医科大学病院小児科、同輪血部(現血液内科)を経て、2000年つじのこどもクリニック開業。2003年(医)やまゆり会を設立し理事長に就任。

医療法人社団やまゆり会 やまゆりファミリークリニック院長 山形菜々恵  
千葉県出身。2013年杏林大学医学部卒業。その後、杏林大学医学部付属病院、稲城市立病院小児科等を経て、2021年にやまゆりファミリークリニックの院長に就任。

姫路赤十字病院 院長補佐 第一小児科部長 久呉真章  
大阪府出身。1983年神戸大学医学部卒業。1997年、姫路赤十字病院に赴任。専門領域は新生児・小児発達。現在は姫路赤十字病院・院長補佐と兼任で第一小児科部長を務める。

## ～子どもたちと働くお父さん、お母さんのために～ 小児医療の今、そして未来を語る。

開院から1年。  
病児・病後児保育室を備えた小児科医院として注目を集め、数多のご家族に利用されている「やまゆりファミリークリニック姫路」。  
当病院長であり、自身も一人の母親・主婦である山形菜々恵氏、いち早く病児保育に取り組んできた、やまゆり会理事長の辻野吉昭氏、  
地域医療の軸を担う姫路赤十字病院・第一小児科部長の久呉真章氏、3人の医師が思う小児医療の在り方とは？  
それぞれの歩みを振り返りつつ、日々の実感と今後の抱負を語り合う。

子どもが通院以上入院未満の治療を受けられる保育室の誕生

【辻野吉昭氏(以下…辻野)】やまゆり会のコンセプトは『未来ある子どもたち、そのお父さんやお母さんのためになる医療』を行うこと。私は勤務医時代より「子どもの具合が悪くなるとして仕事を休まなければならない」、「熱を出した子どもは預かってもらえない」、「そうしたお母さんたちの声を間近で聞いてきました。兵庫県の病児保育室の立ち上げに関わった経験もあって、自分が開業したら、ぜひ病児・病後児保育室を作ろうと心に決めていたんです。

神戸市東灘区で病児・病後児保育室をスタートしたのですが、当初は保育士や看護師といったスタッフの確保に大変苦労しました。経営的にも決して楽ではありませんが、地域の皆さんから頼りにされて、多い年で年間3500人ほどのご利用があります。病児保育というのは、いわばブチ入院。点滴や吸入などの医療を施して、預かった子どもの病気を治すという目的もあります。ただ、危険な症状に陥る場合もあるので、大きな病院との連携は欠かせません。そこで、姫路に開院するにあたっては、大先輩でもある久呉先生にお願いしたんです。

【久呉真章氏(以下…久呉)】大先輩なんてとんでもない、私は小先輩くらいですよ(笑)。辻野先生とは以前からご縁があったんですが「今度、姫路で開院するのでぜひ力を貸してほしい」と正式にお話をいただきました。こちらのクリニックを開院されて1年ほどですが、その間、何人も患者さんを受け入れてきましたし、

とても良い連携が取れていると思います。  
実は、姫路赤十字病院は新生児専用救急車を兵庫県で初めて導入した病院。それは平成2年のことですが、遡ると、昭和40年代には日本初の新生児センターを設立していました。昔から新生児医療や小児医療の拠点病院として、いかに重要なポジションにあるか、そうしたハード面からも分かります。平成13年には姫路日赤全体が現在の場所に移転したのですが、その際には私自身もNICU(新生児集中治療室)やGCU(新生児回復治療室)などの設計に携わりました。

【山形菜々恵氏(以下…山形)】大先輩すぎるお二人の前で、自分の話をするのはお恥ずかしいのですが…。私はもともと千葉県出身で、東京の大学を卒業し、その付属病院で研修医となり、小児科医の道へ進みました。こちらに引越したのは、主人の実家が神戸だったから。主人は医療関係者ではないのですが、私の仕事にとても理解があつて、家事や育児も進んでやってくれますし、様々な面でサポートしてくれます。パートナーがこの人でなかったら、医師の仕事は続けられなかったと日々感謝しているところです。

患者さんと同じ、  
子どもを持つ母親だからこそ分かることも(山形)



姫路市内では初となる、病児・病後児保育が可能な「もく保育園」。やまゆりファミリークリニック姫路のすぐ隣に位置する施設。



やまゆりファミリークリニック姫路が所有する、乳幼児の検査も可能なエコーやレントゲンなどの機器。



【辻野】ここは「ごちそうさま」と言うべきかなでしょうかね(笑)。それはさておき、山形先生には新院長として大変期待しています。女性ならではの細やかさやソフトさはもちろんですが、いい意味で「男前」！さっぱりしている面もあって、頼りになります。それと、東京圏の方は、時間や距離の感覚が関西圏とはかなり違いますよね。例えば、こちらの研修医に遠方の出張など頼むと、あまりいい顔をしないんですが、山形先生は快く請けてくれる。長時間の通勤や通学が当たり前だったからかもしれませぬ。



どういった病状の子どもでも絶対に断らない姫路の医療体制

【山形】今も神戸から1時間以上かけて通勤していますが、もともと車の運転が好きというの

こちらに来てから、「ママ友ができない」と不安がお母さんたちがいかに多いか、改めて痛感しています。やはり、小児医療や育児の現場においてもコロナ禍の影響は大きいですね。



日本初の新生児センターの設立や新生児専用救急車の導入で全国から注目される姫路赤十字病院。



姫路市内の開業医の先生が交代で、深夜や休日に医療サービスを提供する姫路市休日・夜間急病センター。

私は、少しでもお母さんたちの力になりたくて、診察の終わりに必ず「何か気になってい

【久呉】地域の皆さんに信頼され、愛される病院になるといのは何より大事なことです。そして、その信頼をずっと維持し続けるための努力も忘

地元愛が表れているんじゃないでしょうか。地域によっては、夜間救急すら無いというケースもありますから。365日、理想的な小児救急医療が整っているというのは、まさに特筆すべきことです。

【山形】小さな子どもはすぐに熱を出したりして、新米ママにとっては不安なことばかり。いつでも受け入れてくれる急病センターがあるというのは本当に心強いことです。一方で、保育園が見つからなくて仕事復帰を

諦めたというお母さんの話もよく聞きます。育児と医療、どちらも国や地域のフォローが行き届いて、もっと働きやすい環境になればいいなと思います。

【辻野】現在、やまゆりファミリークリニック姫路では近隣の「もく保育園」と提携して病児・病後児保育を行い、地域の子育てに貢献しています。来年度は障がいを持ったお子さんたちの医療も本格化するべく、理学療法や作業療法などに

地域の皆さんに愛され、信頼され続ける小児科であるために(久呉)



病児・病後児保育のバイオニアとしての自負と気概を持って(辻野)



れてはいけませんよね。

姫路赤十字病院の小児科では、地域の開業医さんからの依頼は一切断らないというのをポリシーにしています。どんな病気であっても、こちらがどんなに忙しくても、託された患者さんは必ず引き受ける。それが長く続く信頼の礎になっているのではないのでしょうか。

【辻野】確かに、姫路赤十字病院のようにどんな依頼も断らない、必ず引き受けてくれる。そういう病院は他にはありません。県内はもとよ

り、全国的に見ても希少だと思います。

【久呉】私自身は大阪出身ですが、他所から来たからこそ、姫路の人の地元愛の強さがよく分かるんですよ。もちろん、医師の方々も地元へ寄せる思いは深いですよ。

姫路の休日・夜間急病センターには市内の開業医の先生たちが中心となって、夜9時から翌朝6時まで交代で毎日勤務しているのですが、これほどの医療体制を敷いているところは、日本ではおそらくここだけ。こういうところにも



それぞれの立場は違っても、小児医療に取り組む真摯な姿勢は同じ。会話が弾み、時には笑顔もこぼれる3人。

も取り組んでいくつもりです。一般的にはあまり知られていないかもしれないですが、起立性低血圧など自律神経のトラブルが原因で不登校になるケースも。そういう人のために小児はりをはじめ東洋医学的なケアも取り入れていこうと考えています。これからは、一般的な小児医療ではフォローしきれない患者さんにも目を向けて、支援していきたいと思っています。

【撮影・監修/宇夫方伸】対談進行・文/中村美夕紀

やまゆりファミリークリニック姫路

姫路市北条梅原町1300-3

☎ 079-221-7155

診 9:00~12:00, 14:00~17:00

休 土曜日午後、日曜日、祝日

あり 交通 JR・山陽姫路駅 車7分

URL https://www.tsujinoclinic.com/yfc-himeji/



検温の実施。

